

普及項目	担い手
漁業種類等	—
対象魚類	—
対象海域	天草西海

ヒトエグサ養殖体験教室による担い手確保の取組み

天草広域本部水産課・阿部 慎一郎

【背景・目的・目標（指標）】

天草地区の主な基幹産業は水産業であるが、漁業の担い手不足が課題となっており、天草地区漁業士会では、活動の一環として漁業後継者育成の取組みを推進している。

そこで、天草地区の主要な養殖業であるヒトエグサ養殖について、地元高校生の理解と関心を高め、卒業後の就職先の候補として関心を持たせることを目的として、天草地区漁業士会が地元高校の生徒を対象に体験教室を実施した

なお、本年度は、体験教室に参加した生徒のうち、50%がヒトエグサ養殖業への就業について関心を持つことを目標とした。

【普及の内容・特徴】

月日：令和4年（2022年）3月8日

場所：天草市内のヒトエグサ養殖業者の加工場、道の駅天草市イルカセンター

参加者：熊本県立天草拓心高校マリン校舎栽培・食品コース2年生8名、同校教諭3名、ヒトエグサ養殖業者1名、漁業士3名、天草漁業協同組合職員2名、水産課2名

養殖ヒトエグサの加工場において、天草地区漁業士会が天草拓心高校マリン校舎の生徒にヒトエグサの生態及び養殖に関する講義を実施。続いて、ヒトエグサ養殖業者が摘採から出荷までの工程について、機材を用いながら説明した後、同校生徒がヒトエグサの異物除去と製品の出荷作業を体験した。

その後、道の駅天草市イルカセンターにおいて、出荷作業に用いたヒトエグサを使ったかき揚げの調理体験及び試食を行なった。

さらに、体験教室による水産業への就職に関する意識の変化を確認するため、体験教室実後にアンケート調査を行った。

また、水産課は漁業士会事務局として、本取組みに係る実施内容及び関係者との調整について、助言・指導を行った。

【成果・活用】

教室開催後に実施したアンケート調査では、参加した8人の生徒全員がヒトエグサ養殖への理解が高まったと回答し、うち4人（50%）は、ヒトエグサ養殖を自分で行いたいと回答しており、体験教室の実施により、ヒトエグサ養殖業への就業について関心を高めることができた。

今後も、本取組みへの助言・指導を継続し、漁業の担い手確保につなげたい。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図1 講義の状況



図2 加工工程の説明状況



図3 異物除去体験



図4 出荷体験



図5 ヒトエグサを使用した
かき揚げの調理体験



図6 試食状況